

DOCTOR'S MAGAZINE

[特別企画]

Special

CrossTalk

柴田

Ayako
Shibata

綾子

佐藤

Kasumi
Sato

佳澄

澁川キリスト教病院 産婦人科

秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター

多様化する時代におけるキャリアの作り方

近年、女性医師は増加傾向にあり、医学部入学者の約3分の1を占めるまでになっている。その一方で、未だ女性医師がキャリアを描く際に多様なロールモデルがそろっているとは言い難い。今、最前線で働く女性医師は自らのキャリアや人生をどう描くのか――。バックパッカーを経て医学部に学部編入し、特別養子縁組で親子の縁を持った1歳の子どもを育てながら、産婦人科医として女性の健康支援をする柴田綾子氏。そして、秋田の救急医療を救うため、救急医がたった3人の医局に初めての専攻医として飛び込んだ佐藤佳澄氏。異なる生き方をしてきた2人の女性医師に、それぞれの生き様やキャリアについて思いの丈を語っていただいた。